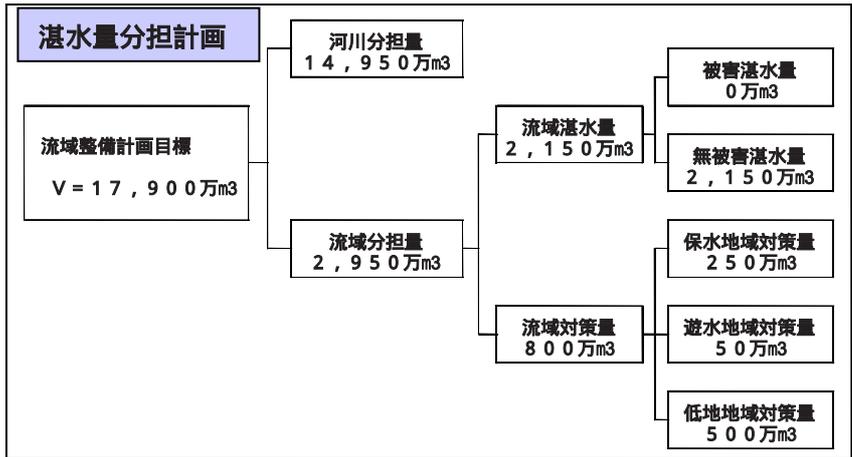
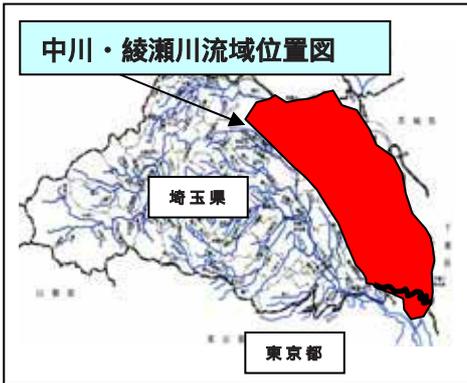


複数県にまたがり広域的な観点で整備が必要な河川 ～ 中川・綾瀬川総合治水対策特定河川事業（東京都・埼玉県）～

総合治水対策

都市化の著しい中川・綾瀬川流域では、従来の手法である治水施設の整備だけでは洪水を防ぐことが困難となっている。よって、河川対策と流域の保水・遊水機能を回復し流域の降雨流出を抑制する流域対策の両面から洪水被害の軽減・防止をはかっている。



河川対策

都市化の特に著しい下流域では、河道の拡幅には限界があるため、下流域に到達する前に河川調節池による洪水時の水の一時的な貯留及び放水路や排水機場による周囲河川への強制排水等の対策を実施しており、広域的な観点に基づいた治水施設の整備に取り組んでいる。

河川対策計画図



流域対策

流域の降雨が短時間で河川に流出しないよう、流域の協力を得ながら、具体的な基準に基づき、雨水貯留浸透施設の設置を行う。

新規開発地・既存開発地の流出抑制量

対象	対策の内容	指導・実施主体	
新規開発地	700m ³ /ha	東京都・埼玉県	
	大規模開発 1.0ha以上	950m ³ /haの流出抑制	茨城県
	小規模開発 0.05ha～1.0ha	500m ³ /haの流出抑制	各市区町村
既存開発地	0.05ha未満	各戸貯留等を積極的に実施	各市区町村
	公園・学校等	流域全体で931.5千m ³	都・県・市・区・町

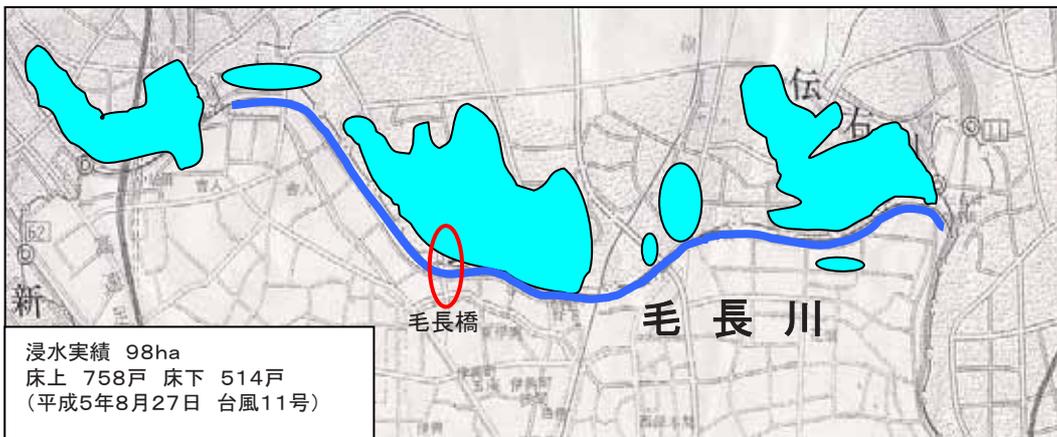
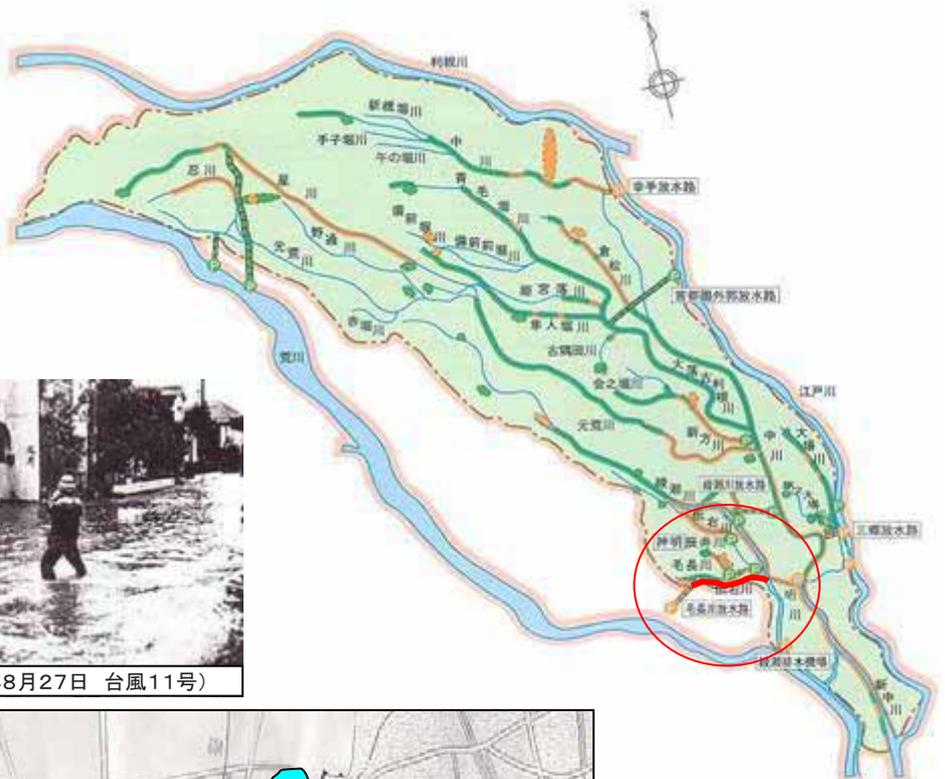
中川・綾瀬川総合治水対策特定河川事業



洪水時（平成3年9月19日 台風18号）



（平成5年8月27日 台風11号）



浸水実績 98ha
 床上 758戸 床下 514戸
 （平成5年8月27日 台風11号）

都市化の進展等による流域開発に伴い、治水の安全度が低下している中川・綾瀬川流域において治水施設の整備並びに河道改修など総合的な治水対策を進めています。

河道整備



毛長川は、河積が狭いうえに、ひとたび雨に見舞われると周辺流域から雨水が流入するため、過去に幾度も浸水被害が発生している。

このため、河道の拡幅や浚渫、堤防の築堤等により河道の流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図っています。

流下能力不足橋梁の解消（毛長橋）



仮設棧橋

旧橋を落とし、陸間部をコンクリートにて復旧する。

事業スケジュール

計画延長	平成16年度末	整備率	平成17年度実施予定	整備率	平成18年度以降残
km	km	%	km	%	km
8.13	6.64	82	0.30	85	1.19